

保土ヶ谷区研究会

1 研究主題

社会に開かれた教育課程の想像・実践

～主体的・対話的で深い学びを実現する授業力の向上と研究交流のひろがりをめざして～

2 研究主題について

保土ヶ谷区では、新学習指導要領、実施2年目となる今年度、昨年度に引き続き研究主題を設定し、研究を進めていくこととした。各教科・領域部会を中心とし研究を推進していく。

3 研究方法

コロナ禍2年目という厳しい状況ではあるが A 研究部、B 研究部がそれぞれに研究を進める中で、昨年度の活動で成果となったこと課題となったことを踏まえ、見通しをもって研究に取り組めるよう各研究会の特質を活かした形で進めることとした。

- ・蜜を避け、各研究会場で人数を絞って開催する。
- ・研究会場を5校に絞り、感染拡大防止に配慮する。
- ・感染の状況を見極め、オンライン開催をする。
- ・提案に必要な資料はメールなどを活用し配布する。
- ・講師を招聘できる期間は、可能な限り講師の指導を受ける。
- ・オンライン上での意見交換を有効に活用する。

4 年間活動（事業）報告

月	日	内容	日	内容
4	14	区 A 研究会	28	区 B 研究会
5	19	区 A 研究会	26	区 B 研究会
6	23	区 A 研究会	30	区 B 研究会
7	14	区 A 研究会	21	区 B 研究会
8	18	区 A 研究会	24	区 B 研究会
9	15	区 A 研究会	22	区 B 研究会
10	13	区 A 研究会	20	区 B 研究会
11	17	区 A 研究会	24	区 B 研究会
12	8	区 A 研究会	15	区 B 研究会
1	19	区 A 研究会	26	区 B 研究会
2	16	区 A 研究会		
3			2	区 B 研究会

○ブロック開催

- ・特別支援の発表会については、コロナ感染拡大防止により、ブロックごとに開催方法を検討し実施した。
- ・区の交流球技大会については、感染状況を見極め、ブロックごとに開催方法を工夫して実施した。
- 区巡回展は予定通り、実施し各校の代表児童の作品を鑑賞し合った。
- 区評議会は年間1回開催予定であったが、コロナの感染状況からその拡大防止のため、6月に紙面総会として実施した。
- 「よこはま国際平和スピーチコンテスト」を6月24日に保土ヶ谷公会堂で実施した。

5 研究の成果と課題

<成果>

- ・コロナ禍2年目であるため、研究会ごとに昨年度の経験を活かし見直しをもって活動内容を工夫し実施できた。
- ・会場に集合しての活動とオンラインを活用しての活動を取り入れ、1年間学びを止めることなく実施できた。
- ・端末を活用した授業について情報交換することで、各校での取り組みに生かすことができた。
- ・昨年度に引き続き研究会の運営がオンラインを活用することが増えたため、オンライン上での意見交換が向上した。
- ・区の一斉授業研究会を研究会ごとにその特質を生かし実施した。ビデオの活用や、紙面での提案などで行った。昨年度実施できなかったことを考えると、各研究会で実施の方法を工夫するなど、今まででは考えられないアイデアを創意する力が身についた。

<課題>

- ・研究会のメンバーが同じ場所に集合しての活動ができなかったため、実技研修を実施することが出来なかった。
- ・一斉授業研究会で45分授業を見ることが叶わなかったため、特に経験の少ない教員にとっては、学びの機会が保障できなかった。
- ・区の水泳大会が2年続けて実施できなかったことやその他、各校の子どもたちが、直接会って交流できる場面がなかったことで、子どもたちの活動経験を保障できなかった。またそれを運営する教職員の経験値についてもこれから先を考えると不安が残る。